

Wellpathy

言えない、気づかない
でも確実に経営を蝕んでいる

女性従業員の声を、
科学と伴走で確実な経営成果に変える



多くの企業でこんなことが起きています

人手不足を感じている経営者

63.0%

日本商工会議所 2024年調査

以下の症状で仕事のパフォーマンスが
半分以下になると答えた女性

月経随伴症状 : **45%**
更年期症状 : **46%**

日本医療政策機構 2018年調査

女性特有の健康課題で
あきらめなくてはならないと感じた経験

42.5%

サブ課題C1 2024年調査

あきらめなくてはならないと感じた内容

正社員として働くこと : **57.9%**
昇進・キャリアアップ : **48.0%**
希望の職種を続けること : **38.1%**

サブ課題C1 2024年調査

女性特有の健康課題が女性のパフォーマンス低下やキャリア形成阻害を生んでいる = 企業の損失

例：埼玉県における経済損失額(推定) **約134億円/年**

問題は、制度の欠如ではなく「人の認識のズレ」「企業風土」にある

「やってるつもり」の経営層

「女性活躍の制度は整えた」



「言いづらい」現場

「制度を使えない・相談できない」



しかし、人の認識や企業風土は目に見えない・・・

- ・離職率や残業時間などの指標では、認識ギャップや組織の空気は測れない
- ・定量的に捉えられないため、現状の組織改善は「勘と経験」に依存



Wellpathyの着目する3つのC

C

Cognition（認識）

経営層のリテラシーと理解

- ・経営者の女性への理解
- ・アンコンシャスバイアス
（無意識の偏見）

C

Culture（風土/文化）

職場風土

- ・言いづらい雰囲気
- ・休みづらい文化

C

Condition（体調）

カラダとココロの不調改善

- ・生理痛などの不調
- ・慢性的な頭痛や肩こりなどの
不定愁訴

組織風土改善を「診断 → 分析 → 改善」で実現する

組織診断SaaS

従業員アンケートとデータ分析により、経営層と現場の認識ギャップや組織風土、従業員のコンディションを可視化



認識ギャップ

心理的安全性

従業員のコンディション

組織風土

専門家によるコンサルティング

診断データを基に組織課題の因果構造を整理し、モチベーション低下や離職意向につながる真因を特定



課題の真因・因果推論

自走化

組織風土改革

制度設計・計画

科学的アプローチを用いた改善

因果分析に基づく施策を実行し、組織風土の改善や従業員のコンディション改善を促進



最新のコンディションング技術に基づいた女性の不調改善アプリ



認知科学に基づいた研修

コンディション改善

意識・行動変容

自律性向上

寛容性向上

専門家不在の 巨大な未開拓市場

対象となるのは日本の中小企業「約300万社」

中小企業の多くが深刻な悩みを抱えている

- ・人手不足
- ・離職
- ・女性活躍
- ・ウェルビーイング経営

しかし、中小企業に組織改善の専門家はいない



地域金融機関を通じた展開へ

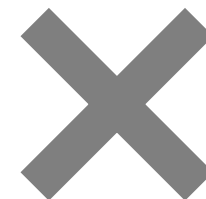
金融機関のアセット



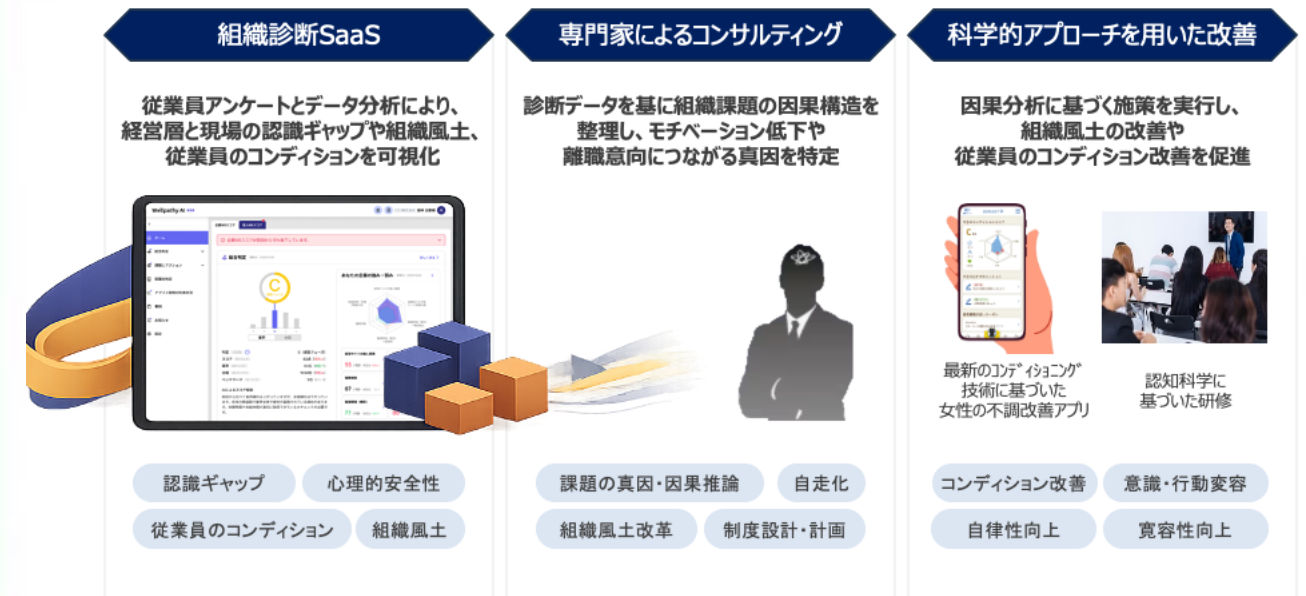
- 地域企業との継続的な信頼関係
- 経営課題に寄り添う伴走支援ノウハウ
- 地域産業を支える社会的インフラ

地域金融機関の課題

- 金利収益の低下
- 非金融サービスの拡充
- 地域企業支援の高度化



Wellpathy



科学的組織改善ソリューションとそれを支えるコンサル人材育成PRG

SaaSを超え、 「組織改善のプラットフォーム」へ

Wellpathyは、中小企業の経営を支える不可欠な基盤になる

